

# 令和8年度予算 を承認

一般勘定予算10億34万9千円  
経常赤字2億2668万2千円  
保険料率1000分の98に引き上げ

令和8年度予算案などを審議する京都新聞健康保険組合の組合会が2月10日、京都新聞トラストビル6階会議室で開催され、保険料率引き上げを含む収入支出予算案など4議案が可決・承認されました。

令和8年度予算に向け、健保組合の財政健全化を目的とした保険料率・保健事業等検討委員会を5回開催し、財政状況及び保健事業の内容等を共有すると共に意見聴取を行いました。その委員会で出された意見等を精査し、加入者及び事業主への影響を最小限に抑えた予算となりました。

一般勘定の予算総額は、前年度予算から2668万6千円増の10億34万9千円。前期高齢者納付金は、前年度から1086万円増の2億3795万8千円。支出に対する不足分を補うため別途積立金からの繰り入れ2億7000万円を

計上、経常収支は2億2668万2千円の大きなマイナス、令和3年度から6年連続の経常赤字となりました。

保険料率は一般保険料率1000分の95から1000分の98に引き上げ、介護保険料率1000分の16に据え置きました。また、令和8年度から始まる子ども・子育て支援金制度では、国から示された一律の支援金率1000分の2.3を設定。一般保険料率引き上げによる保険料収入は1996万6千円増と見込みます。収支プラスマイナスゼロの目安となる実質保険料率は1000分の128.31と非常に高率であり、今後もこの状況が継続した場合、保有財産の別途積立金が3~4年で枯渇する可能性もあり、健保財政は今後も厳しい状況が続くことが予想されます。一層の医療費抑制、疾病予防対策等が強く求められます。

## 令和8年度 一般勘定

### 収入

保険料収入は7億1013万1千円、前年度予算から1996万6千円増、調整保険料収入は748万円、調整保険料率が前年度から1000分の0.13引き下げの1000分の1.01に改定されたことにより、前年度から100万6千円の減と見込んでいます。令和7年度末残金繰越を行わず、別途積立金から2億7000万円の繰入を計上。収入では

この他、出産育児交付金に54万7千円、財政調整事業交付金に300万円、保健事業事業所一部負担金（令和8年度よりコラボヘルス推進を目的に各種健診結果の個人データを事業主と共同利用することにより、被保険者の健康保持増進を図ることとし、各事業所から負担金を求める）に600万円、その他雑収入で244万6千円を見込み計上しました。

### 令和8年度収入支出予算の概要

収入	科目		予算額(千円)
	健康保険収入	保険料	710,131
	その他	203	
調整保険料収入		7,480	
繰越金繰入金	前年度繰越金	196	
	積立金繰入	0	
	その他	270,000	
国庫補助金収入	支援金等負担助成金	1	
	特定健診・保健指導補助金	340	
	その他	4	
特定健康診査等事業収入		1	
出産育児交付金		547	
財政調整事業交付金		3,000	
雑収入	利子収入	2,299	
	その他	6,147	
合計			1,000,349
経常収入合計			719,667

支出	科目		予算額(千円)
	事務費		48,576
保険給付費	法定給付費	被保険者	210,131
		被扶養者	202,995
		高齢者	3,500
		高額療養費	3,000
付加給付費	被保険者	11,700	
	被扶養者	3,800	
納付金	前期高齢者納付金	237,958	
	後期高齢者支援金	160,781	
	病床転換支援金	1	
	流行初期医療確保拠出金	1	
保健事業費	特定健康診査事業費	2,049	
	特定保健指導事業費	2,066	
	保健指導宣伝費	2,585	
	疾病予防費	51,905	
	体育奨励費	1,000	
	在宅療養支援事業費	240	
	還付金	保険料還付金	1,234
	調整保険料還付金	13	
当繕費		1,000	
財政調整事業拠出金		7,480	
連合会費		402	
積立金		2,100	
その他		326	
子ども勘定繰入		196	
予備費		45,310	
合計			1,000,349
経常支出合計			946,349

予算基礎数値 (一般勘定・子ども勘定)	被保険者数	1,070人
	平均標準報酬月額	512,500円
	平均年齢	45.84歳



## ●支出

事務所費4857万6千円、サイバーリスク保険料40万円、マイナンバー情報連携業務用のサーバー運用保守経費として11万3千円を計上。

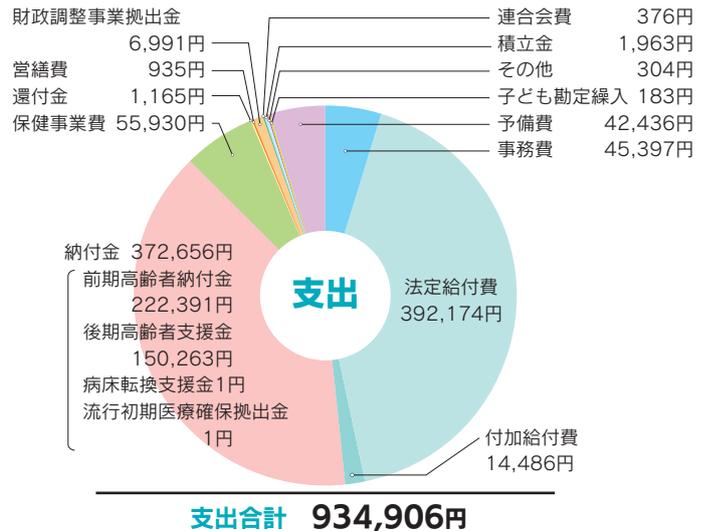
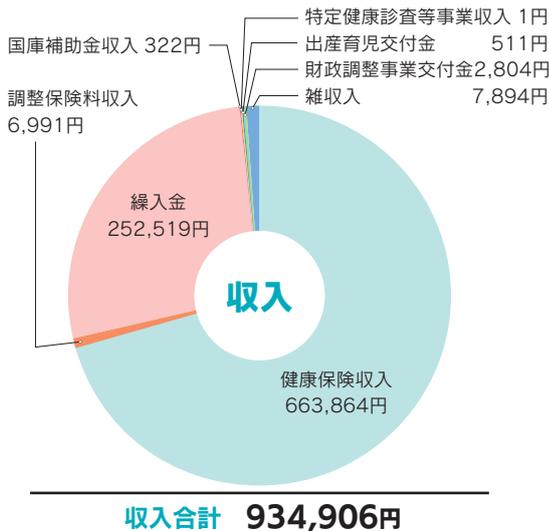
保険給付費全体(付加給付を含む)で4億3512万6千円を計上、診療報酬改定及び過去の実績や今後の動向を勘案し、前年度から1787万7千円増となっています。高齢者医療制度にかかわる納付金等が前年度から767万4千円増の3億9874万1千円。

保健事業費は第3期データヘルス計画に基づき、前年度の事業を継承しつつ、一部の事業の廃止、健保だより

の冊子での発行を廃止しホームページを活用するなど、見直しを行いました。特定健康診査事業費(特定健診・特定保健指導)は411万5千円、保健指導宣伝費258万5千円、疾病予防費5190万5千円(セルフメディケーション推進事業として100万円を計上)、体育奨励費(ウォーキングキャンペーンの開催)100万円を計上、支出の発生しない事業として家庭用常備薬の斡旋を7月と12月に計画、保健事業全体で5984万5千円となっています。

その他の支出と予備費を含めた予算額は収入支出ともに10億34万9千円と、前年度から2668万6千円増の予算としました。

## 被保険者1人当たり収支



## 令和8年度 介護勘定

介護保険料率は前年度と同率の1000分の16(負担割合は事業主・被保険者折半)に据え置いた予算としました。収入は介護保険料収入8451万3千円、令和7年度末残

予算基礎数値 (介護勘定)	第2号被保険者	本人	680人
		扶養者	267人
	平均標準報酬月額		595,000円

収入	科目	予算額(千円)	被保険者1人あたり額(円)
		介護保険料収入	84,513
	前年度繰越金	1,172	1,724
	繰入金	2,500	3,676
	利子収入	76	112
	その他	2	3
	<b>合計</b>	<b>88,263</b>	<b>129,799</b>

## 介護保険料率1000分の16を維持

金繰越117万2千円、準備金からの繰入250万円を計上。支出は介護納付金が前年度から433万2千円減の8381万3千円、介護保険料還付金20万4千円、予備費に424万5千円を計上し納付金の係数変更に対応しました。介護保険予算額は前年度から322万1千円減の収入支出ともに8826万3千円となっています。

支出	科目	予算額(千円)	被保険者1人あたり額(円)
		介護納付金	83,813
	還付金	204	300
	積立金	1	1
	予備費	4,245	6,244
	<b>合計</b>	<b>88,263</b>	<b>129,799</b>

## 令和8年度 子ども勘定

子ども・子育て支援金率は国から示された一律の支援金率1000分の2.3(負担割合は事業主・被保険者折半)に設定した予算としました。収入は子ども・子育て支援金収入1559万2千円、一般勘定から受入19万6千円を

収入	科目	予算額(千円)	被保険者1人あたり額(円)
		子ども・子育て支援金収入	15,592
	前年度繰越金	0	0
	繰入金	0	0
	その他	1	1
	一般勘定受入	196	183
	<b>合計</b>	<b>15,789</b>	<b>14,756</b>

## 令和8年4月施行

計上。支出は子ども・子育て支援納付金1467万4千円、子ども・子育て支援金還付金3万円、予備費に108万5千円を計上しました。子ども・子育て支援金予算額は収入支出ともに1578万9千円となっています。

支出	科目	予算額(千円)	被保険者1人あたり額(円)
		子ども・子育て支援納付金	14,674
	還付金	30	28
	積立金	0	0
	予備費	1,085	1,014
	<b>合計</b>	<b>15,789</b>	<b>14,756</b>